



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成26年7月～9月)

- 「平成26年度農業・農協問題研修会」
 - 主 催 自治労北海道
 - と き 平成26年7月11日
 - テ ー マ 規制改革会議の農業・農協改革案徹底批判
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「TPPの現段階と農協改革」
 - 主 催 旭川市農村婦人大学
 - と き 平成26年7月16日
 - テ ー マ 規制改革会議の農業・農協改革案徹底批判
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「てん菜研究会第12回技術発表会」
 - 主 催 グリーンテクノバンク
 - と き 平成27年7月18日
 - テ ー マ てん菜圃場試験における多重比較L・S・Dの利用
 - 講 演 鷹田 秀一
(当研究所・研究部次長)
- 「旭川市雇用促進セミナー」
 - 主 催 旭川市商工観光部
 - と き 平成26年7月3日
 - テ ー マ 6次産業化と雇用開発
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「TPPに反対する紫波町民集会」
 - 主 催 岩手県紫波町民会議
 - と き 平成26年7月13日
 - テ ー マ 規制改革会議の農業・農協改革
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「JICA『アフリカ地域におけるアグリビジネス振興と農村開発』コース」
 - 主 催 一般社団法人滝川国際交流協会・国際協力事業団
 - と き 平成26年8月7日
 - テ ー マ 6次産業化による地域づくりと特産品開発
 - 講 義 黒澤 不二男
(当研究所・顧問)
- 「北農中央会若手県研修会」
 - 主 催 北農中央会
 - と き 平成26年7月7日
 - テ ー マ 規制改革会議 農業改革プランの徹底批判
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「北海道地域農業研究所研究会」
 - 主 催 北海道地域農業研究所
 - と き 平成26年7月15日
 - テ ー マ 規制改革会議の農協改革案批判
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平成26年度教育文化活動推進会議」
 - 主 催 北農中央会
 - と き 平成26年7月18日
 - テ ー マ 教育文化活動と「農協」改革
 - 講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「上川農民連研修会」
 - 主 催 上川農民連盟
 - と き 平成26年8月8日
 - テ ー マ 規制改革会議の農協改

革案徹底批判

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「JICA『農民参加による農業農村開発』コース」

主催 公益財団法人北海道農業公社・国際協力事業団

とき 平成26年8月26日

テーマ 北海道における普及活動と6次産業化支援

講義 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

○「農業問題学習会」

主催 農民連盟空知支部

とき 平成26年8月28日

テーマ 安倍内閣の農業・農協改革

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成26年度集落リーダー研修会」

主催 福岡県JAいとしま

とき 平成26年8月30日

テーマ 安倍内閣の農業・農協改革を問う

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成26年度空知地区JA役員研修会」

主催 北農中央会岩見沢支所

とき 平成26年9月3日

テーマ 規制改革会議の農協改革案を問う

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成26年度豆類需給安定会議・豆類生産流通懇談会」

主催 公益社団法人北海道豆類価格安定基金協会・全国豆類振興会

とき 平成26年9月4日

テーマ 豆類需給安定化と消費拡大

コーディネーター 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

○「平成26年度JA役職員研修会」

主催 静岡県農協中央会

とき 平成26年9月5日

テーマ 農協改革とJAのあるべき姿

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「第28回日本作物学会講演会」

主催 日本作物学会

とき 平成26年9月10日

テーマ 農業圃場実験における交互作用の多重比較法について

講演 鷹田 秀一

(当研究所・研究部次長)

○「平成26年度北海道マテックス農材会講演会」

主催 北海道マテックス農材会

とき 平成26年9月11日

テーマ 北海道農業の現状・課題とビジネスチャンス

講演 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

○「第7期地域活性プロデューサー人財塾」

主催 一般社団法人北海道活性化機構

とき 平成26年9月13日

テーマ 6次産業化による地域活性化の先駆事例

講義 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)



DATA FILE

関連事項／DATA

一般社団法人 北海道てん菜協会
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
☎ 011(221)2542
FAX 011(221)1815

ジャム工房 緑夢ファーム
〒093-0215
北見市常呂町字岐阜220-2
☎ 0152(54)3380

滝上町役場
〒099-5692
紋別郡滝上町旭町
☎ 0158(29)2111
FAX 0158(29)3588

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011(757)0022
FAX 011(757)3111
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail: office47@chiikinouken.or.jp

◆編集後記◆

●今夏は、異常ともいえる集中豪雨が列島各地で発生し、痛ましい被害があつた。平地における河川氾濫、山間部や丘陵地帯での土砂崩れや泥流災害が随所で起こり、道内においても、礼文島や各地いたるところで被災した。生まれて初めて、また想定をはるかに上回るとの言があつたが、まさかと気づいた時にはず

に遅し、天災という無限の恐ろしさを改めて感じた。避難指示の遅れも指摘されているが、常に起こりうる最大リスクを平時から心に留め、最善の備えを用意することが、本当の用心であろう。天災に対し絶対安全はない。

●今年一年の集大成となる収穫の秋。米は豊作のようだ。道内食率も向上したが消費量の減少が残念だ。少子高齢化もあるが、食事時間が定型化

せず、個食などという食生活の変貌やジャンクフードが氾濫していることもある。和食が無形文化遺産に登録されたが、このままでは本場の遺産になつてしまう。「ご飯食べたいかい？」が日常挨拶の決まり文句であつたはずなのだが。

●仁川アジア大会。開催地韓国や中国にメダル総数では越えられてしまったが、水泳陣の活躍は目覚ましかった。新しい世代に受け継がれてのメ

ダル獲得ラッシュ。選手層の厚さや技術レベルの高さを感じた。北島選手のような大スターの出現が次世代確保に大きく貢献しているのだろう。

テニス界では、錦織選手か。数多くのスポーツがあるが、各界でスター選手が誕生し、皆が期待とわくわく感で一体となる瞬間がどんどん増えることを今後も期待したい。

●旭岳の初冠雪は平年より9日、昨年より三日早いそうだ。紅葉の先に白く映える山並みは、観光客にはうれしい風景だが、生産者の方には秋の深まりを実感してしまう一コマとなる。天候相手であり、各作業にもアクセルがかかる頃だが、何より安全が第一である。家族みんなと豊穡の年を喜びあうためにも、無事故無災害に徹して欲しいものだ。

(片岡 省二)